

芸術創造特別支援事業リーディング・プログラム「ヨコハマートライフ」選考結果

1. 助成趣旨

横浜市と公益財団法人横浜市芸術文化振興財団は、2019年、2020年と国際的なスポーツ大会が横浜市内で開催されることを契機として、芸術創造特別支援事業リーディング・プログラム「YokohamArtLife(ヨコハマートライフ)」を実施する。

この取組みは、距離や時間、気持ちを理由に少し遠くを感じる“芸術文化”を「もっと身近に、もっと気軽に」に変えていくために、日常的にアートに参加する機会を増やすプロジェクトを対象とした公募型事業である。これらを通じて、あらゆる市民が芸術文化を体験できる環境づくりを進める。

2. 応募者数

29件応募（うち1件辞退で審査は28件で実施）

3. 審査日時・会場

令和1年7月22日（月）13:00～19:30

横浜商工会議所 805 会議室、財団事務局 9 階会議室

4. 審査員

芹沢高志（P3 art and environment 代表）

中村美亜（九州大学大学院芸術工学研究院 准教授）

藤岡泰寛（横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院 准教授）

菅原幸子（横浜能楽堂支配人）

5. 審査基準

評価計画書：本支援事業の趣旨を理解し、評価計画書が記載されているか。

企画力：地域性を踏まえた、横浜ならではの企画となっているか。

実現力：団体に計画書、企画を実現する体制、資金計画があるか。

6. 審査方法

外部審査会による一次書類選考採点の結果、上位10件を二次選考へ

二次選考では面談・採点・審議を行い、採択を決定。

7. 審査講評

総じて優れた提案が数多く上がった。結果として、その中でもより優れた4団体を採択。これらはリーディング（先導的モデル事業としての先進性、実験性）の意味を理解し、また日常的にアートに参加する機会を増やすという趣旨に合致し、かつ企画内容が高い評価を得た。

あわせて、全市的に芸術文化体験を広げるという意図から地域のバランスを考慮し、新制度である点を踏まえて既存事業ではない取組みを優先的に採択した。それぞれ新しい取組みながら地域への広がりや定着が期待され、実現性も高いと評価された。

8. 審査結果

4件採択（採択総額：32,000,000円）